

公立諏訪東京理科大学の DX に関する取組み事例

2025 年 8 月現在

No.	取組み	概要	担当課
1	郵便・荷物管理システム「トドケール」の導入 (2022 年度～)	大学宛に届いた宅配便等の荷物を管理。 教員個人（研究室）宛の宅配便等が日々大量に届くが、導入以前は手書きの台帳で管理し、教員には個人のメールボックス（教員に書類等を受け渡す引き出し）にメモを貼って知らせていた。トドケールでは、荷物のラベルをスマホで読み込むことで宛名を認識し、該当教員に自動でメール通知。受渡しまでのタイムロスや台帳作成の手間を削減できた。	総務企画課
2	学生向け野菜無人販売 (2025 年度～)	地元農家の協力により、安価な野菜を学生に提供するための無人販売ブースを設営する。2025/10～開始予定。農家の納品価格提示、販売、精算までを本学発のベンチャー企業がシステムで自動化し運営。農家が販売する手数を極力省力化することで農家、学生双方のメリットにつなげる。	地域連携・研究支援課 / 財務課
3	外部資金及び知財のデータベースをクラウドサービス「kintone」で管理 (2024 年度～)	これまで Excel ファイルで行っていた外部資金受入状況および知的財産の管理を、クラウドサービス「kintone」に移行した。知的財産のステータス管理や外部資金契約の状況、受入件数・受入金額の管理、統計資料の作成などに活用している。	地域連携・研究支援課
4	予算配分申請書の電子化 (2024 年度～)	外部資金を受け入れる際、これまでは財務課への予算設定申請を紙ベースで行っていたが、コラボフローを活用した電子申請を導入した。これにより、決裁に要する時間が短縮されたほか、契約書や原議書などの書類もシステム上で確認できるようになった。	地域連携・研究支援課
5	アパート・アルバイト情報の公開	物件情報及びアルバイト情報をインターネットを利用して収集、学生に公開している。	教務・学生支援課
6	キャリアタス UC の導入 (2017 年度～)	株式会社キャリアタスが提供するクラウド型サービス「キャリアタス UC」を導入し、求人票やインターンシップ情報の管理をオンラインで実施。企業は本学のシステムに直接求人票を登録でき、学生はいつでも閲覧・検索が可能となった。進路決定届など各種申請もオンライン化され、求人情報・企業情報・学生情報・OBOG 情報の一元管理が実現。キャリア支援における業務効率化と学生の利便性向上につながっている。	教務・学生支援課

7	WEB 出願システム等の導入	学部入試（学校推薦型選抜、一般選抜）において、WEB 出願システムを導入。これにより出願者情報を一元的に管理できるようになり、受験者による受験票のダウンロードや合否照会および成績開示がオンライン上で可能となり、事務作業の省力化（受験票の発送等）が促進された。	教務・学生支援課
8	入学手続きシステムの導入	入学手続きについて、オンライン手続きを導入。これにより、入学者情報の一元管理が可能となり、入学予定者の書類送付の手間が省け、手続き事務においても省力化が促進された。	教務・学生支援課
9	各種イベント参加申込に係る WEB システムの導入	オープンキャンパスや高校教員対象大学・入試説明会、保証人懇談会などのイベント開催に際し、参加申し込みを web 化して情報を一元管理している。なお、これらの情報をもとに WEB アンケートも実施し、参加者の声を元に以後のイベント改善に役立てている。	教務・学生支援課
10	生成 AI（ChatGPT、Copilot 等）の活用	全職員対象に、生成 AI ツールの活用を推進している。これにより、資料作成、アイデア出しなど、多様な業務の効率化を図っている。 (情報係では、PC およびシステムトラブル時の解決にも役立てております。)	教務・学生支援課

学生向け野菜無人販売 システム

(地元農家との協働による野菜摂取の促進)

《ねらい》

- 1 学生の健康維持
- 2 フードロス対策（規格外廃棄野菜の活用・SDG s）
- 3 地産地消
- 4 農家の収益向上



システム運用イメージ

産学連携・地域貢献

近隣農家



出荷者別売上精算・入金

規格外野菜を袋詰め

販売省力化
収益力向上

バーコード添付



販売所へ納品

無人販売所



大学

販売スペースの提供
運用経費支援

学生の健康
維持

カゴメ株式会社との協働による学生の
ベジチェック実施（野菜摂取量測定）

システム提供



本学発ベンチャー企業
合同会社LocaLeap

出荷者別売上管理、
精算業務

事業拡大

スマホ決済

学生

安価な野菜購入



システム概要 (システム機能)

近隣農家



安易な出荷・販売



出荷者別売上精算通知・送金

監視カメラモニタリング

無人販売所



販売所ゲート入退出管理

購入代金のスマホ決済

※**出荷者別売上精算機能**を持たせ、
農家の手間を極限まで省き、かつ
販売コストを削減する



本学発ベンチャー企業
合同会社LocaLeap

システム運用・保守

バーコード読み取りによる
出荷者別・売上管理

DXによる農家の
1 規格外野菜の販路確立
2 出荷販売に係る省力化
3 収益力強化



大学

運用経費支援



学生

ユーザー登録

ChatGPT を活用した事務業務の効率化について

本学では、事務業務の効率化と学生サービスの向上を目的として、ChatGPT をはじめとする生成 AI を業務に活用しています。

本課では、学生への通知文書や保証人への案内文書など、多岐にわたる文書を作成する必要があり、従来はゼロから作成することで多くの時間を要していました。その結果、他の業務に割ける時間が限られ、学生対応などの窓口業務に支障をきたす場面もありました。こうした課題を解決するため、DX 推進の一環として生成 AI を活用し、効率的な業務運営を目指しています。

ChatGPT の具体的な活用方法

1. 文章の作成

キーワードや一部の文例、作成したい文章の要望を入力することで、ChatGPT が整った文章を生成します。これにより、文書作成にかかる時間を大幅に短縮することができ、他の業務への時間配分が可能となります。

2. 文章の要約

会議資料や報告書など、内容を簡潔にまとめた資料が必要な場合には、ChatGPT を活用して要約を作成しています。短時間で効率的に概要を把握できるため、業務のスピード向上につながっています。

活用時の注意点

ChatGPT を活用することで大幅な時間短縮と業務効率化が実現していますが、生成される文章の正確性は必ずしも保証されていません。そのため、最終的な文書は必ず担当者が内容を確認し、誤りがないかをチェックしたうえで使用しています。

- Our Mission -

明日を少し楽しく便利な一日に

Vision

みんなが明日を 楽しみな世界へ

Mission

明日を少し楽しく 便利な一日に

Message

地方の中小企業に目を向けると技術力が高く、有名なプロダクトのパーツを作っている素晴らしい企業が多く存在しています。しかし、日本はIT後進国と言われるまでにデジタル化が進められていません。

このような企業がDX化の遅れで失われてしまうのは、日本だけでなく世界として損失だと考えています。

DX化による効率化に加えて地方の活性化をすることは、関係人口や活力の増加へ繋がり本当の意味で暮らしやすく幸福度の高い地域を作ることができると思っています。

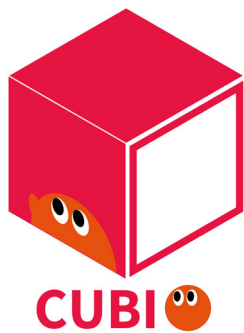
名前である「LocaLeap」には、Local(地域)をLeap(躍進)させるという思いをこめています。

Works



Mapus

公立諏訪東京理科大学様のキャンパスMapアプリです。GPSを利用しないで位置を特定し、目的地まで案内します。



CUBI

無人コンビニサポートシステムです。安価に無人で決済を可能とするシステムを提供します。



Suwaaa

公立諏訪東京理科大学の学生が諏訪地域のお店をお得に楽しめるアプリです。



混雑度可視化システム

センサーとサイネージシステムによって入場ゲー可視化、混雑を回避することができます。

News

2025/5/18 公式HPのリニューアルを行いました。

2025/3/3

LocaLeap

Philosophy

Works

News

Company

Contact

2024/8/2 【諏訪理科大様】キャンパスMapアプリのリリースを行いました。

2024/7/26 諏訪理科大ベンチャー認定を受けました。

2024/7/2 会社を設立・法人登記を完了しました。

Company

Member

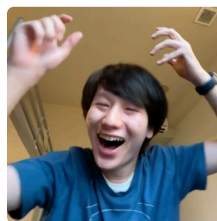


Co-Founder

佐伯 空都

Saeki Sorato

大学入学時から地方DX化プロジェクトに参画し活動。
その他、大手ITやベンチャー企業等 複数社でのプロジェクト従事を経験。



Co-Founder

井上 健人

Inoue Kento

ロゴやHPなどデザイナーとして受託業務を経験。
加えて、多くのハッカソンなどコンテストに参加し複数受賞。



Co-Founder

望月 裕太



Internship

川上 天駟

Kakeru Kawakami

大学入学時から技術系プロジェクトに積極的に参加。
現在は在学しながら学内プロジェクトの運営や社内開発に従事。

Overview

会社名 合同会社 LocaLeap

代表者 佐伯 空都

資本金 180,000 円

設立日 2024年 07月 01日

所在地 長野県茅野市豊平5000番地
公立諏訪東京理科大学内

事業内容

- Webサイトデザイン・開発
- モバイルアプリ開発
- DXコンサルティング・システム受託開発
- 子供向けのプログラミング教室運営・教材開発

大学公式！

公立諏訪東京理科大学

学内Mapアプリ

案内機能
つき



MAPUS

私たちが
つくりました！



合同会社LocaLeap

初の学部学生による大学発ベンチャー。
2025年3月に情報応用工学科を卒業した3名
が2024年7月(学部4年次)に設立しました。
それぞれ都内の企業に就職した現在も大学内に
拠点を構え、活動を継続しています。諏訪での
つながりを大切にしながら先端技術で人々の生
活を豊かにするため取り組んでいます。

現在位置
6号館 2階 エリア



経路

【案内を開始します】

渡り廊下で4号館4Fへ

ダウンロードは
特設サイトから！



キャンパスマップをご活用ください！

研究室やイベント会場までご案内します！

【期間限定】

公立諏訪東京理科大学
学外者向けネットワーク

SSID : ext.sus.ac.jp
パスワード: gX2DUAAtTDV!

